



協力企業・協力団体
(順不同)

エコツーリズムプロジェクトチーム員

私たちは、かけがえのない奥入瀬渓流の自然環境を保全するため、訪れる皆さんに自然の大切さを理解してもらい、永続的な保全と、自然環境を活かした地域振興を図る「奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト」を応援しています。

【協賛企業】

NTT東日本・東北電力(株)十和田営業所・上北農産加工農業協同組合
田中建設(株)・丸井重機建設(株)・(財)十和田湖ふるさと活性化公社

みちのくコカ・コーラボトリング(株)・(株)青工・(有)ニタドリ・紺野建設(株)・
蔦温泉売店・東北インテリジェント通信(株)・田中建設工業(株)・(株)中達組・
十和田おいらせ農業協同組合・むつ小川原燃興産(株)・日本生命保険相互会社・
(社)十和田青年会議所・十和田食堂・程川電気工事(株)・(有)ふじの・(株)吉田産業・
(株)十和田ビルサービス・十和田タクシー(株)・十和田シティホテル

「併催イベント」提供・協力

十和田湖観光汽船(株)／[シャトルバスチケット特典提供]
十和田観電鉄(株)十和田湖双胴船／[シャトルバスチケット特典提供]

「併催エコツアー」協力

青森県ウォーキング協会 NPOあおもり観光誘客推進協会
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学 青森県立十和田西高等学校 (社)十和田市観光協会

「奥入瀬エコロードフェスタ」スタッフ協力

青森県警察 青森県 十和田市 十和田市交通指導隊

お問合せ

奥入瀬渓流利用適正化協議会事務局
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会事務局
●代表／青森県県土整備部道路課整備推進グループ
TEL.017-734-9651

行くたび、
あたらしい。青森

▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ A O M O R I



マスコットキャラクター
「いくべえ」

®



自然にも、深呼吸。

奥入瀬渓流 エコツーリズムプロジェクト

2010 実施報告書

マイカー交通規制の
目的・背景

豊かな自然を快適に味わう為に

奥入瀬渓流は車で気軽に立ち寄ることができる国立公園である反面、観光シーズンは観光車両が殺到し、渋滞を引き起こしています。また、路上駐車やアイドリングしたままの車両も多く見受けられ、奥入瀬渓流の自然環境はもちろん、散策(ウォーキング)をしている利用者の方々にも決して良い環境とは言えません。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では「自然環境保全と渋滞解消」を目的とし、マイカー交通規制の試行に取り組んでいます。しかし、迂回路において大型車がすれ違い困難であることや、渓流沿いの国道102号は、もともと地域の生活道路や産業道路としての物流機能も担っています。

このため、規制車種や期間の拡大のためには、さまざまな課題が残っておりますが、今後毎年の試行を継続し、皆様のご理解をいただきながら定着を図って参ります。



目次

- P3 奥入瀬渓流エコロードフェスタの結果
- P4 交通規制中の奥入瀬渓流
- P5 来訪者アンケート結果 (H20~22)
- P6 奥入瀬渓流エコロードフェスタ イベント報告
- P8 奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー 催行結果
- P11 その他のイベント催行結果
- P12 エコツアーアンケート結果
- P13 十和田奥入瀬認定ガイド
- P14 奥入瀬渓流エコツーリズム フォーラム2010

奥入瀬渓流
エコツーリズム
フォーラム
2010

昨年に引き続き今年も「奥入瀬渓流エコツーリズムフォーラム2010」が開催されました。第4回となる今年も会場には約300名の来場者を迎え、奥入瀬渓流のこれからの在り方や、奥入瀬渓流の素晴らしい自然環境を保全し、後世に伝えていくにはどのようなことを考える必要があるかについて、市民の皆様と一緒に考える機会となりました。

- 日時/平成22年9月26日(日)14:00~16:30
- 場所/十和田市民文化センター
- 主催/十和田市
- 共催/NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会



●基調講演
テーマ「名曲“奥入瀬”の誕生秘話」^{作詞家}北川 文化氏
初めて奥入瀬を訪れたとき、耳をふさいでも鳥のさえずりや、鬱蒼とした森には木漏れ日と溪流のせせらぎが聞こえ、そして、古代からのコケが岩を光らせ大自然の歴史を感じ、胸が張り裂けるくらい感動しました。この素晴らしい奥入瀬渓流の自然を次世代にしっかりと受け継いでいかなければならない。

●パネルディスカッション
テーマ「限りなく美しい奥入瀬渓流を永久に」
コーディネーターに五十洲廣明氏(元青森県企画政策部政策調整課長)を迎え、「限りなく美しい奥入瀬渓流を永久に」と題してパネルディスカッションが行われました。



(社)十和田市観光協会
会長
古舘 實氏
旅のスタイルとして“歩かないと観られない”という観光スタイルも一つだと思ふ。滞在型の観光をより推進するべき。



八戸工業大学
教授
佐々木 幹夫氏
奥入瀬渓流は1999年に大規模な地滑りを経験しているが、溪流の岩は30~50年に一度割れる周期があり、これは自然の摂理として受け入れていく必要がある。



青森県立十和田西高校
3年
高橋 美雪さん
遊歩道を歩いて奥入瀬渓流を満喫しているときに、車やバイクの騒音や排気ガスはとても迷惑。マイカーの規制は奥入瀬渓流の環境保全にもなり必要だと思う。



北里大学獣医学部
准教授
黒瀬 奈緒子氏
知床ではエゾシカのためにフェンスの設置や地下道を作ったりしている。人間側からだけでなく動物側の視点に立つことも考慮して欲しい。

奥入瀬溪流 エコロードフェスタ の結果

昨年に引き続き、奥入瀬溪流マイカー交通規制が行われました。紅葉時期終盤の実施でしたが、昨年より多くのお客様に参加していただくことが出来ました。

残念ながら2日目(10月31日)は、秋雨の降る悪天候となりましたが、皆様のご理解とご協力により円滑に2日間を終えることが出来ました。

来年度以降も継続して実施を予定しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【規制の概要】

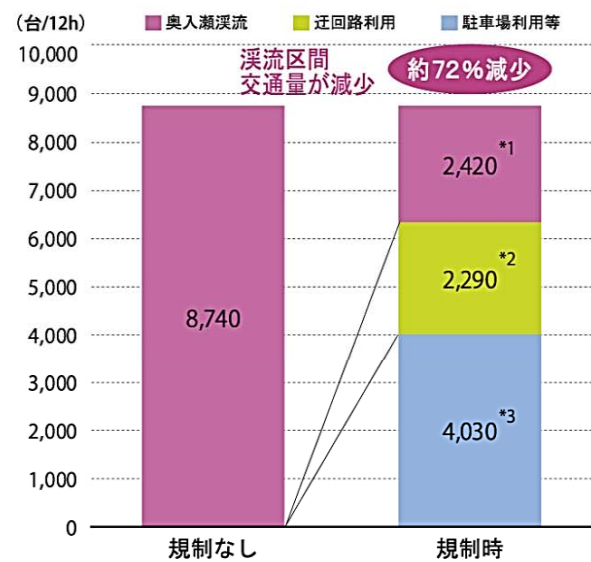
試行日時	H22.10.30(土)	H22.10.31(日)
気象状況	晴れ	曇り(一時雨)
規制時間	9:00~16:00	
規制車両	マイカー車両(レンタカー含む)	
規制車両外	バス、大型、中型、タクシー、自動二輪等	
シャトルバス	焼山~休屋 20分間隔 往復フリーパス800円	
シャトルバス利用者数	約1,421人	約666人
駐車台数	約1,820台	約1,540台



エコツアー アンケート 結果

催行ツアー [主催者]	実施日	調査票回収
① 青森500選チャレンジウォーク [青森県ウォーキング協会]	10/30・31	30
② 奥入瀬溪流三里半ウォーク [青森県ウォーキング協会]	10/30・31	118
③ 奥入瀬溪流ボランティアガイドウォーク [NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学]	10/30・31	20
④ 巨木探検ツアー [NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学]	10/30・31	-
⑤ 電気自動車試乗会 [青森三菱自動車販売]	10/30・31	29
合計	-	197

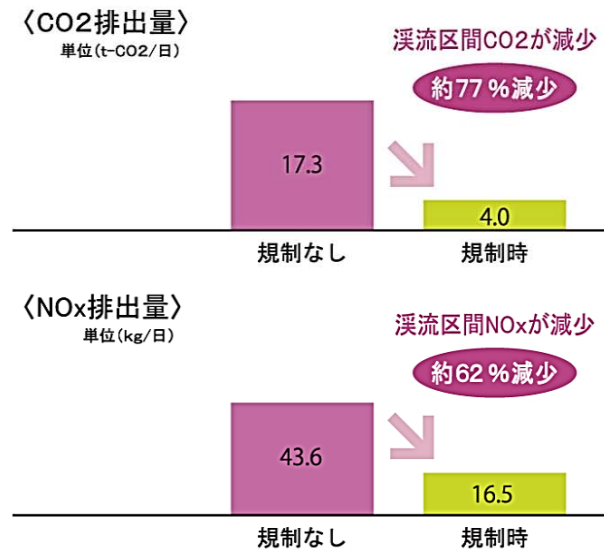
溪流区間の交通量は約72%(約63百台)減少



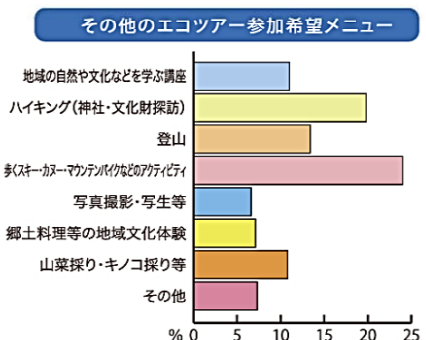
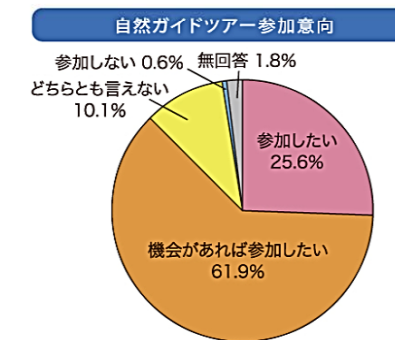
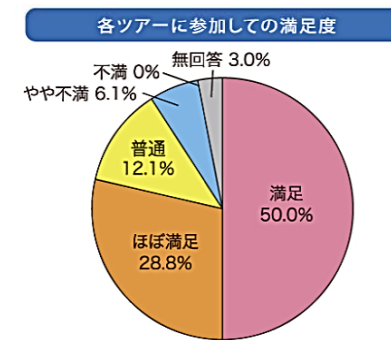
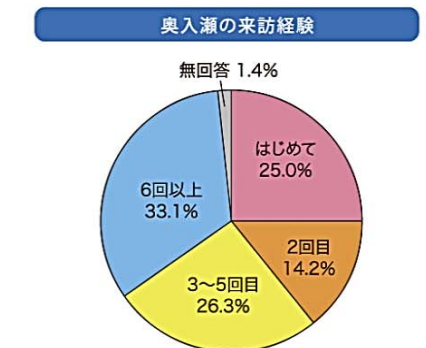
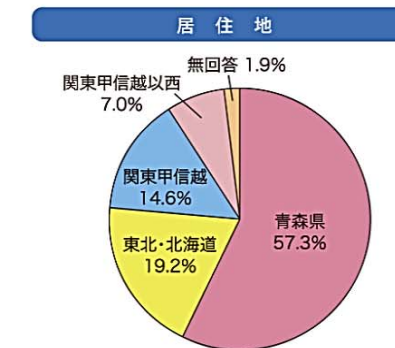
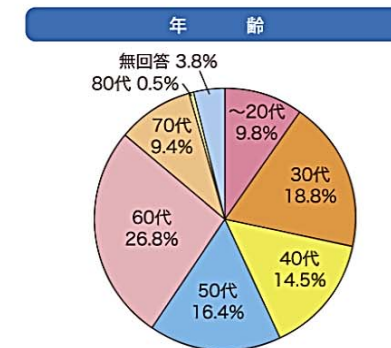
※1. 「規制なし」とは、当日の規制を実施しなかった場合に想定される交通量推計値
 ※2. 「規制時」とは、H22.10.30(土)・H22.10.31(日)の調査結果に基づく交通量
 ※3. 青ブナ山交差点交通量調査結果(迂回路利用)
 ※4. H22駐車場利用台数×0.6(H15駐車場利用者アンケート調査結果より)×往復

温室効果ガス・大気汚染物質が大幅に減少

マイカーを規制した結果、溪流区間の交通量が減少したことにより、温室効果ガス(CO2)、大気汚染物質(NOx)が大幅に減少しました。



※1. 算定方法は「客観的評価指標の定量的評価指標の算定方法(案)」に基づく



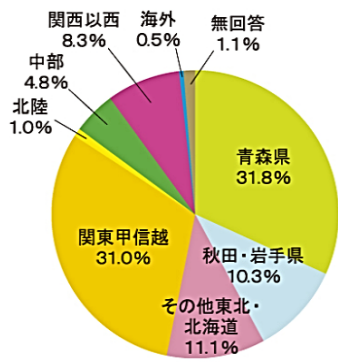
来訪者 アンケート結果 (H20~22)

来訪者の住所

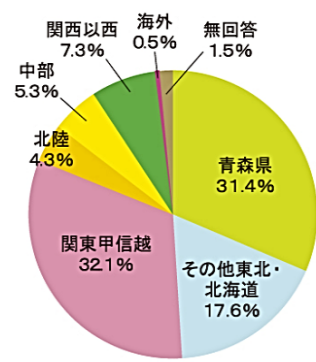
マイカー交通規制の必要性

規制時の来訪意志

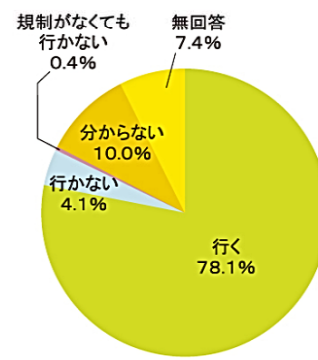
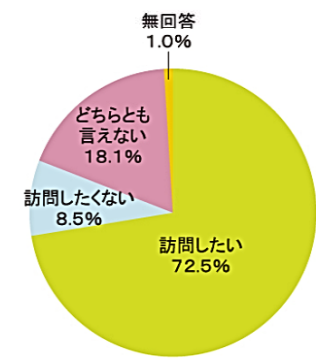
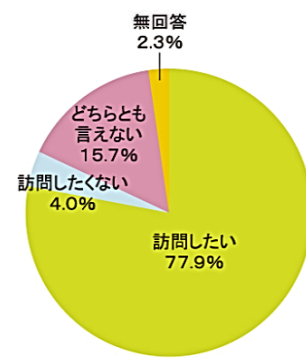
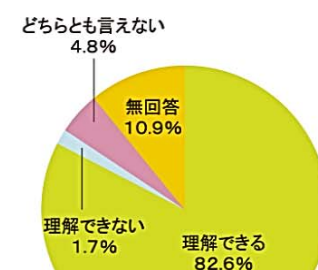
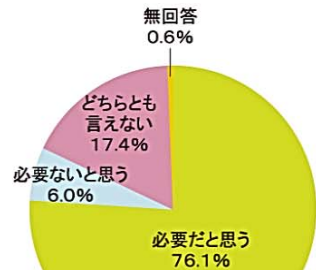
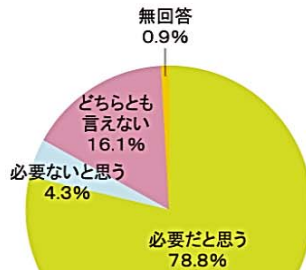
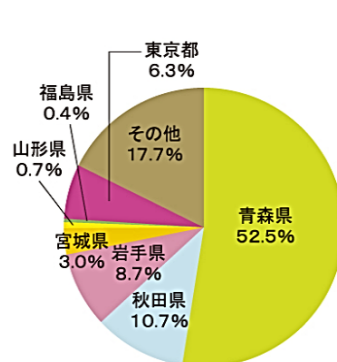
H22 (サンプル数 1,859 件)



H21 (サンプル数 1,965 件)



H20 (サンプル数 541 件)



フリーアンサー

- 今回初めてエコロードフェスタを知りました。観光シーズンなどで混雑している時は、奥入瀬渓流の環境保全と渋滞解消のためマイカーを規制してシャトルバスを運行することが望ましいと思います。
- 奥入瀬渓流を歩いたが、車が少なく静かでもとても良かった。今後は大型車も規制すると、もっと紅葉を堪能できると思います。
- 3年前にも来ましたが、やっぱり歩行が楽、規制は必要です。奥入瀬渓流の保護のためにも5月の新緑の時期など交通規制の日数を増やして欲しい。
- 環境保護のために自動車（バイパス）・自転車・人の専用道路が必要だと思います。

FESTA MENU 3

見所3km満喫!1時間コース!
ボランティアガイドウォーク
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

コース
3KM

～奥入瀬渓流見所区間約3km(約1時間散策)～
十和田西高校の生徒さんの協力による観光ガイドが同行します。

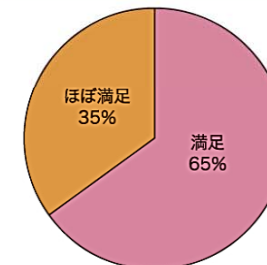
- 実施日/2010年10月30日、10月31日
- 集合場所/休屋・焼山各駐車場の受付テント
- スタート/10月30日、10月31日、9:00から20分ごとに出発、最終14:00
- 参加費/1,000円 [シャトルバス代、傷害保険を含みます]
- コース/
 [Aコース] 休屋 → シャトルバス → 石ヶ戸 → 徒歩3km(1時間) → 雲井の滝 → シャトルバス → 休屋
 所要時間 約2時間10分
 [Bコース] 焼山 → シャトルバス → 石ヶ戸 → 徒歩3km(1時間) → 雲井の滝 → シャトルバス → 焼山
 所要時間 約1時間40分



〈お客様の声〉

- 高校生のガイドさんにお世話になりました。心に残るガイド、ありがとうございました。
- マイカー規制は上高地のように通年でも良いと思います。
- 是非ともこの素晴らしい奥入瀬渓流をいつまでも守ってください。

ツアーに参加した感想は?



FESTA MENU 4

奥入瀬の自然スタディコース
巨木探検ツアー
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

～日本一のブナの木を見に行こう～ボランティアガイドの協力による認定ガイドが同行します。

- 実施日/2010年10月30日、10月31日
- 集合場所/焼山駐車場の受付テント
- スタート/10月30日、10月31日、焼山受付テントから9:00、11:00、13:00
- 参加費/1,000円 [ツアーバス料金、傷害保険を含みます]
- コース/ 焼山 → ツアーバス → 下車 → 徒歩(5分) → 日本一のブナ → 徒歩(5分) → 乗車 → ツアーバス → 石ヶ戸 → 焼山
 所要時間 約1時間20分



石ヶ戸 → 焼山
※石ヶ戸で途中下車出来ます。奥入瀬渓流も散策してみたいかがでしょうか

奥入瀬溪流 エコロードフェスタ エコツアー 開催結果

【棧橋前広場（休屋地区）】



マイカー交通規制によって、普段とは違う静かな奥入瀬溪流が生まれます。この機会に、多くの皆様にその魅力を体感していただくため、奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、様々なウォークイベント、自然ガイドツアー等のエコツアーを開催しました。エコロードフェスタ期間だけでなく、通年でのエコツーリズム観光推進に向けて、今後も幅広いメニューを検討し、皆様に提供していきたいと考えています。

FESTA MENU

“青森の秋”を感じませんか？

青森500選^(4コース)チャレンジウォーク

青森県ウォーキング協会・NPOあおもり観光誘客推進協会

青森市民スポーツ連盟認定大会

**コース
30KM**

青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」設定コース。奥入瀬溪流をはじめとする“青森の秋”を感じませんか？

青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」設定コース			
十和田湖奥入瀬溪流のみち	8.5km	種差海岸・渚と風のみち	8.0km
秘境・下北半島尻屋崎のみち	7.0km	ふくち里山バーデパークのみち	7.0km

※青森県内500選11コースの中で残り7コースは10月16・17日開催の「縄文の杜あおもりツアーテーマパークウォーク」で企画しました。

■標準コース

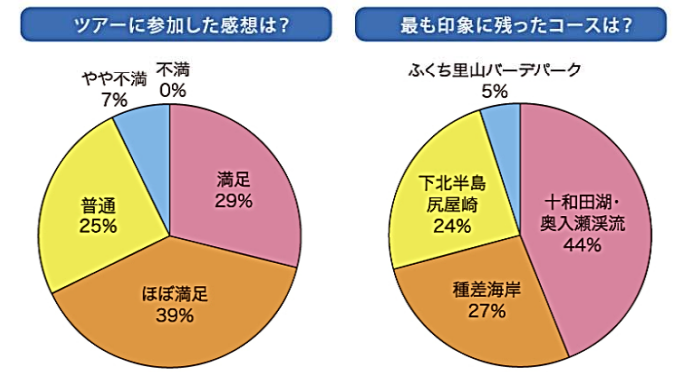


- 10/29 八戸前泊 蕪島 八戸シーガルビューホテル
500選 青森④のスタート地点にあるホテル
- 10/30 「美しい日本の歩きたくなる道 500選」
[青森④] 7:30~9:30
種差海岸・渚と風のみち 徒歩/2時間 → **8.0km**
種差海岸 9:40 バス移動 → 下北半島・尻屋崎ビジターハウス
- [青森④] 13:00~14:45
秘境・下北半島尻屋崎のみち 徒歩/1時間45分 → **7.0km**
尻屋崎 15:00 バス移動 → 18:00 十和田湖畔 休屋 団
- 10/31 休屋 8:15 湖上遊覧 → 9:05 子ノ口
[青森⑩] 9:10~12:00
十和田湖奥入瀬溪流のみち 徒歩/3時間 → **8.5km**
石ヶ戸 12:15 バス移動 → 14:00 南部町
- [青森⑧] 14:10~16:10
ふくち里山バーデパークのみち 徒歩/2時間 → **6.5km**
南部町 16:20 バス移動 → 16:40 八戸駅

ご旅行代金:28,000円

＜お客様の声＞

- 前回来たとき渋滞がひどく時間を取られ、通り抜けるのに4~5時間かかり大変でしたが、ゆっくりと溪流を見ることが出来たので良かったです。
- 歩くのに安心して溪流の景色を見ながらゆっくり楽しくウォークできました。
- 自然を守る為にも良いし、観光としてもゆっくり見て歩くことが出来たので良かったです。
- ウォーキングの途中、各見所での小休止がもう少しあれば良かったです。



FESTA MENU

全区間14km制覇! 5時間コース!

奥入瀬溪流三里半ウオーク

青森県ウォーキング協会・NPOあおり観光誘客推進協会

青森市民スポーツ連盟認定大会

コース **14KM**

～美しいブナ林の紅葉と溪流のせせらぎを歩く～奥入瀬溪流全区間14km(三里半)、約4～5時間のコースです。

■実施日/2010年10月30日、31日

■集合場所/奥入瀬溪流館(焼山)/集合9:40、出発 10:00

■コース/奥入瀬溪流館(焼山) 奥入瀬溪流14km 子ノ口(遊覧船) 湖上遊覧 休屋

■参加費/3,000円 [シャトルバス代、十和田湖遊覧船、傷害保険を含みます]



〈お客様の声〉

- 地域の人が地道に取り組むことはとても意義があると思います。
- 観光シーズンの土日に来ると渋滞がひどいので今までなかなか来られませんでした。また、溪流を歩こうと思うと、マイカー等の混雑に困っていたのでマイカー規制の中でバス・船で移動できるのは良いと思う。
- マイカーを規制したことで、乗用車の騒音が少ないので自然をより深く感じられました。



奥入瀬溪流エコロードフェスタの取り組みを多くの方に知っていただくため、奥入瀬溪流館(焼山)において、「奥入瀬溪流三里半ウオーク」の出発式を兼ねた、開幕セレモニーを来賓者出席のもと開催しました。

【開幕セレモニー(焼山地区・奥入瀬溪流館)】



その他のイベント催行結果

【湖畔歩行者天国】



【エコツアーステーション】

■設置場所／焼山P1駐車場・休屋棧橋前
 エコツアーステーションでは、十和田湖・奥入瀬渓流で行われているエコツアーについて様々な情報発信しました。また、「セグウェイ」の試乗体験(休屋のみ)、十和田湖・奥入瀬渓流写真展など、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

- 情報を発信しているエコツアーリスト
- ・ネイチャーランプリングツアー
 - ・カヌーツアー
 - ・スノーランプリングツアー
 - ・自然ボランティアガイド



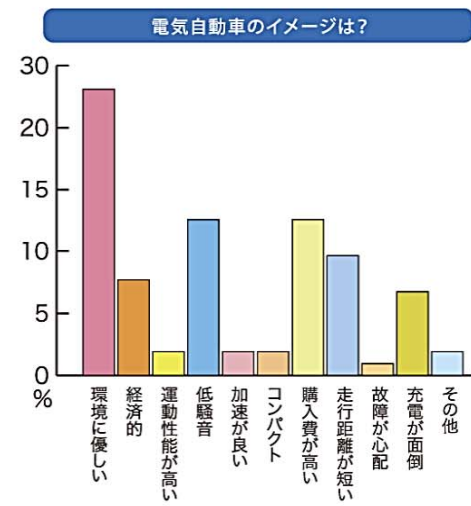
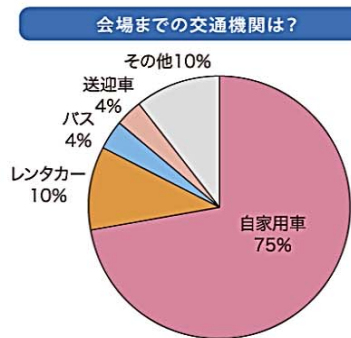
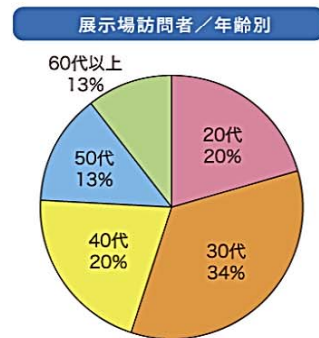
※セグウェイの試乗体験は、休屋地区のみで実施しました。

【電気自動車展示試乗会】



奥入瀬渓流の環境問題、自動車利用の在り方を考えていただくことを目的に、休屋地区内で電気自動車の試乗会を実施しました。

- 試乗日時／10月30日(土) 10:00~16:00
 31日(日) 10:00~16:00
- 参加者／29名



交通規制中の奥入瀬渓流

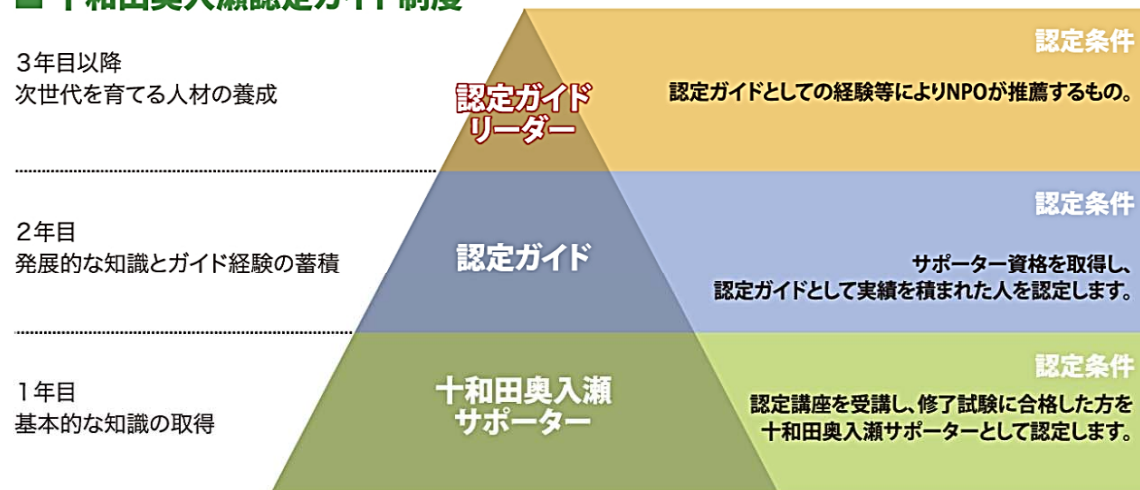


奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会の一員であるNPO法人十和田奥入瀬づくり大学では、昨年から十和田奥入瀬地域における豊富で貴重な自然・歴史・文化を守りながら、訪れる観光客の皆様にもその魅力を伝える自然解説員(ガイド)の育成を行っています。

2年目の今年は、昨年「サポーター」に認定された方々が「認定ガイド」へ昇格すべくスキルアップのための養成講座や現地研修を受講し、20名を認定ガイドとすることが出来ました。また、新たなガイド育成のための「サポーター養成講座」も実施し、新たに11名を「サポーター」として認定することが出来ました。

今後も新たなガイドの育成と更なるスキルアップを目指していきたくと考えております。

■ 十和田奥入瀬認定ガイド制度



【講座日程】

認定ガイド養成講座	サポーター養成講座
5月29日(土) 認定ガイド養成講座(7時間)	9月4日(土)・5日(日) サポーター養成講座(14時間)
5月22日(土)・30日(日) 奥入瀬渓流現地研修①、②(14時間)	9月11日(土) 奥入瀬・十和田湖現地研修
6月19日(土) 鳶沼現地研修	10月9日(土) 修了試験(2時間)
8月28日(土) 認定ガイド証交付(20名)	11月6日(土) サポーター証交付(11名)



奥入瀬渓流は、十和田八幡平国立公園の中で最も保全基準の厳しい特別保護地区に指定されており、自然環境を良好に保全すべき地区です。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では、自然環境保全と渋滞解消を目的に平成15年からマイカー交通規制を試行しており、今年で5回目の実施となりました。

マイカー交通規制は、自然環境保全や渋滞解消につながるだけでなく、本来の自然美や溪流美をそのままに活かす環境が創出される取り組みです。

このため、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、「奥入瀬渓流エコロードフェスタ」として、マイカー交通規制中の環境の中で、奥入瀬渓流三里半ウォークやボランティアガイドウォーク、巨木探検ツアー等のエコツアーを催行しました。

また、平成22年は東北新幹線が全線開業し、十和田湖・奥入瀬が県外からの観光客にとってより身近な観光地となりました。これにより今後、奥入瀬渓流の魅力伝える「十和田奥入瀬認定ガイド」の役割がより重要であると考え、新たなガイド育成とスキルアップに努めたいと思います。

これからも、自然を尊重し、自然に感謝し、永続的に保全する努力を行いながら、奥入瀬渓流の自然の奥深さや幅広い魅力をより多くの方々に知っていただけるよう、官民一体となって取り組んで参ります。

また、これらの取り組みは、県内外の企業の皆様からの御協賛と地元関係団体をはじめ多くの皆様から支えられています。

ここに今年度の事業が無事に終了できましたことを事務局、スタッフ一同より深く感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく一層のご理解、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

奥入瀬渓流利用適正化協議会
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会